

# 卓球協会

昭和 23 年(1948 年)創立

## 【あゆみと現状】

卓球協会は、昭和 23 年（1948 年）創立以来、市内企業チーム、クラブチーム、高校、中学を中心に活動を進めてきた。平成元年（1989 年）の総合体育館完成を機会に、第 1 回茅ヶ崎選手権大会を近隣市町の選手の協力により、盛大に開催し、大成功のもと新たな茅ヶ崎卓球協会の発展を開始した。

このときの役員構成は、会長 山ノ井昭、副会長 女川照夫、西澤良春、理事長 和田紘一の体制により、充実した協会の運営に着手した。選手育成の一環として協会主催の練習会を毎週総合体育館にて、中学・高校・一般の選手合同で選手強化に努めた。この時以来、新たな組織と、活動図式による市内選手の強化の礎となって順調に現代に引き継がれている。

平成 3 年（1991 年）、長年協会に尽力してきた山ノ井会長が勇退し、会長 西澤良春、副会長 女川照夫、千原恵之輔、理事長 和田紘一の体制が発足した。西澤会長就任と同時に茅ヶ崎卓球協会長杯を開催し、毎年 400 人規模の大会として、近県からのメジャーな選手の参加とともに、

大盛況な大会へと発展を遂げている。

平成 10 年（1998 年）には、全国青年大会で（西浜高校 OB を中心に）和田、小川、梅原、平江、高木、水野で全国優勝し、全国クラブ選手権に於いても球楽会、湘南クラブが上位に入り、全国社会人選手権（マスターズの部）個人戦でも優勝、準優勝などの実績を残している。県民総合大会でも過去 10 年間にブロック優勝 2 回、2 位 3 回、3 位 2 回と常に上位入賞など数々の成績を上げている。

全日本クラスでも若手選手の台頭により、一つの卓球ブームを迎えている。茅ヶ崎も中学の卓球部が盛んであり、県大会等でも好成績を残す実力が定着している。一方で、登録者数が示すとおり、小学生以下の卓球活動がそれほど普及していないように思われる。これからはそういった点も視野に入れ、競技スポーツとして、また、生涯スポーツとして市民が卓球を楽しめるよう、協会としても考えていきたい。

【平成 20 年度登録者数】

小学生	4 名
中学	239 名 (14 団体)
高校	75 名 (8 団体)
一般	185 名 (21 団体)
合計	503 名



(総合体育館での協会主催大会)